



真 心



令和 7年 2月 26日
樋川小学校 No21
文責 岩岡 清美

学校教育目標 自ら考え主体的に行動し、共に伸びる樋川っ子～「成長・感謝・希望」の1年～

こんなに成長しました！～学習編～



6年生国語科、定番教材の一つとも言われる「海の命」（作/立松和平）の学習です。子どもの頃、学習した記憶がある保護者の方もおいでるのでないでしょうか。この学習では、初発の感想をもとに各自が設定した課題を四つもち、一つずつ課題解決を図りながら、最終的には『どうして太一は瀬の主を殺さなかったのか』という共通のゴールに向かいます。

友だちがどんな課題を取り上げているのか、そしてどんな考えを持っているのか、端末を通して知ることができます。もっと深く知りたい、意見を交流したい時は、その友だちと直接対話します。黒板の全文掲示や教科書、端末などを用いて、ペアやグループで



話し合ったり他のグループに移動して別の考えにふれてみたりして、個別最適な学習を進めています。ただ「委ねる」のではなく、亀井教諭は事前に一人一人の考え方や学びに目を通し、個に応じたコメントを毎回残し、学びの方向がぶれないように示しています。亀井教諭曰く「これまで学習した物語文「やまなし」（作/宮沢賢治）の学習が生



かされ、さらに学びの深まりや広まりを感じることができ、子どもたち一人一人の成長を感じる」そうです。

目的意識をもって、それぞれ主体的に学びを進め、お互いが関わり合って、読みを深めていく様子が、子どもたちの姿からよく伝わってきました。6年生の授業を見ていて、まさに本校の学校教育目標「自ら考え主体的に行動し、共に伸びる樋川っ子」の姿であると実感しています。



3年生書写の時間の作品です。今日が、「毛筆」最後の時間だったそうです。

毛筆の授業は、3年生から始まります。最初は、習字セットの扱い方、筆の持ち方、片づけ方、始筆・終筆といった「基本のキ」からマスターしていた子どもたちですが、1年経ってこんなに立派に書けるようになりました。教わったことを大切にして、とめ・はね・はらいに気をつけて、一画一画丁寧に書いていますね。

書写担当の浅田先生曰く「学びに向かう姿が素晴らしい、授業に集中してどの子もみるみる上達していった」というのです。今後の成長も楽しみです。



3連休明けの昨日は欠席者0でしたが、今日は少し欠席者が増えています。栄養と睡眠を十分とて、今週も乗り切りましょう！